

## 目標達成計画

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地震・津波発生時に対する避難訓練が未実施であり、法人内及び地域と協力体制を築き、有事に対応できる体制を整備する必要がある。	・災害発生時に避難ができる体制を整備する。	・法人内での協力内容の整理。 ・町内会との協力内容の整理と、覚書の締結。 ・地震・津波発生想定での避難訓練の実施。 ・訓練内容を振り返り、課題の抽出と対応。	1年
2	1	法人理念をネームプレートに携行し、職員が個々に機会あるたびに確認、意識するよう努めているが、職員全体で確認し合う機会に乏しく、事業所個別の理念の検討を行ったが策定に至っていない。また、意識が低い職員もいる。	・利用者の皆様や、地域特性などを踏まえ、法人理念を元に、事業所の理念を策定する。 ・策定した理念を、日々のケアに活かしていく。	・利用者の皆様の望む生活を考えると共に、地域の特性を知り、検討委員会を設置し中心となって、全ての職員参加により理念を検討・策定する。 ・法人理念と共に掲示・携行し職員間で共有すると共に、理念を尊重して支援方法などの検討を行い実践につなげていく。	1年
3	10	運営に関する利用者やご家族の意見・要望について、スタッフミーティングでの検討、運営推進会議での報告、情報誌を通じた報告を行っているが、全ての意見・要望について記録・検討・報告がなされていない。	・運営に関する利用者やご家族の意見・要望について、どのようなことでも記録・検討・報告を行い、運営に活かすようにする。	・意見・要望の内容、検討の内容、結果を記録する専用の用紙を作成する。 ・意見・要望をうかがった場合には、意見・要望用紙に記録すると共に、ケア記録への記録を継続していく。 ・運営推進会議、情報誌での報告の他、必要に応じて一覧を作成し報告する。	2ヶ月
4	26	計画作成担当者は、MDS-HCを利用して客観的指標に基づき課題の抽出を行い、計画に反映させているが、ケアスタッフが個々に持っている利用者の情報をケア記録に記録しているものの、集約しての記録は行っていない。	・ケアスタッフが個々に持っている利用者の情報を共有し、計画及び支援に活かすこと。	・利用者様の情報を、ケアスタッフにより追記しつつ情報集約が図れるよう、センター方式を事業所独自に改良して書式を作成する。 ・計画作成時には、蓄積された利用者様の情報と、客観的指標に基づいた課題の抽出をあわせて行い、計画及び支援に活かしていく。	6ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。